

## 施工事例紹介

## ドコモ基地局新設



メンバー

藤本太助 中村雅美 飯星善英 西村栄治 宮本政尚 吉川一昌 鬼塚浩二

携わったみなさんに、施工背景や工夫した点をお聞きました！

## 工事概要

今日の生活において重要なアイテムとなった携帯電話端末と電話網を、電波で中継する基地局を新設しました。基地局はアンテナと送受信機で構成されていて、その規模により鉄塔タイプ、ビル設置タイプ、小型基地局、屋内基地局に分かれます。我々は主に15～50m程の高さがあり、郊外に建設する「鉄塔タイプ」と、ビルやマンションなどの屋上を借りて設置し、主に市街地で利用する「ビル設置タイプ」の建設を扱いますね。塗装の塗替えや局舎・関連構築物のメンテナンスも担当しています。

## 受注の背景

NTTドコモの通信施設工事は、熊本県の民間企業で当社だけが手がけています。20年以上受注している重要な業務ですね。手順としては、まずいただいた電波に関するご意見・ご要望や調査データをもとに、最も効果的な建設計画を建てます。その後営業部が建設候補地や建物を調査して基盤を確保し、所有者・近隣住民に対して最善の提案ができるよう折衝。また建設の際に規制を受ける法令の確認や解除を行い、その後工務部にて基地局建設、メンテナンスと、計画から工事に至るまでを円滑に進められるよう頑張っています。

## 気をつけたこと

店舗の屋上駐車場で行ったボールの新設工事では、雨漏りを起こさないよう、防水工事に万全を期しました。設計には入っていませんでしたが、アスファルト舗装解体後すぐに防水材を塗布し、雨が階下の店舗に漏れないように工夫しました。失敗すると損害賠償になる可能性があるため、水漏れしなくてよかったです。他にも店舗内天井の配管工事を行った際は、誘導員を配置したため夜間の工事を特に問題なく終えることができました。店舗に限らずビルやマンションでの工事では、入居者が利用されている中で工事をするため、ケーブルの切断や損壊、雨漏れなど既存設備の損傷防止の事前対策が必要です。また従業員や利用者、入居者、周辺住民の方とのトラブルにも細心の注意を払っています。

## 難しかったこと

鉄塔は郊外の山頂付近で工事することが多く、道幅が狭く急な斜面で未舗装の悪路を登ることもしばしばあります。軽車両に加えてキャリヤやモノレールを使用しなければ資機材を運搬できない場所もあり、通路の確保を始めた事前の仮設計画が大変重要です。また山の上やビルの屋上での足場作業は、風の影響を非常に受けやすいです。台風の時節は強風による足場の損壊や飛散物の対応に追われることが多いので、急な接近の際は社員総出で対応していますね。

## やりがいを感じたエピソード

熊本地震本震直後、多くの避難者の方々が携帯電話を握りしめている姿を目の当たりにしました。家族・親族の安否を確認し涙を流す姿を見て、直接「ありがとう」と言われる仕事ではありませんが、地域住民の方々のライフラインを新設・維持管理する業務の重要性を体感しました。

## 施主様の声

「安全、高品質、低コストで施工をお願いします」と言われています。これからも施主様から信頼されるよう、業務を行っていききたいと思います！





みずあらい まい

水洗 舞

チーム

2013 年 7 月 1 日入社

- ①午前中は朝食・片付け・掃除・洗濯などの一通りの家事をして、午後は子どもと遊びに行ったり、1 週間分の食材をまとめ買いに行ったりしています。
- ②子どもがお昼寝しているときに、コーヒーを淹れて飲むこと。だいたい飲みだすと、起きてしまいますが(笑)
- ③ホームページの更新や、WEB サイトの分析、広告媒体別の反響、広告デザインの確認、イベントの準備、雑誌などの校正チェックなどです。
- ④経歴の長さに関係なく、感じたこと、思ったことを言い合えまし、業務が詰まっているときはお互い相談しやすい雰囲気だと思います。
- ⑤お互いのことを理解しようとするところ。そして、全員の仕事に対する責任感が強いところが好きです。
- ⑥新規のお客様が来てくれたときや、お客様から喜びの言葉を頂けたとき。あとは、イベントがうまく行ったときなど、全ての業務にやりがいを感じています。
- ⑦雑誌の取材で直接お施主様に「BAUHAUS.での家づくりはどうでしたか?」とお聞きしたとき、「とても幸せ」「家にいる時間が楽しかった」「早く帰りたくなった」などのお言葉を頂きました。そのご家族の幸せの中にBAUHAUS.の存在があることに、とても嬉しく思いましたね。

- ⑧歳が近いこともあり、自分の意見を言いやすいところです。
- ⑨仕切りがないオープンな家。明るくて開放的で、「家が楽しい!」と思えるような間取りがいい!
- ⑩料理が楽しくなるような素敵なキッチンと、動きやすい動線。料理しながら、子どもの相手や他の家事ができるような作りが理想です。



## 広報課 メンバー紹介

- ①趣味・休日の過ごし方を教えてください。
- ②ホッと一息つきたいときのあなたの気分転換方法を教えてください。
- ③普段の業務内容を教えてください。
- ④広報課の雰囲気を教えてください。
- ⑤広報課の好きなところを教えてください。
- ⑥仕事のやりがいを教えてください。

- 出社できないときなどは、皆でフォローしています。また仕事においても、皆で協力し合えるところです。
- ⑨現在の家は2 階建てなので、次は平屋です。広い敷地に回遊性のある平屋を建てたいですね。
  - ⑩収納がたくさんあって、生活感の出ないキッチン。あと、汚れが目立たないこと(笑)



ながた かよ

永田 佳世

2016 年 4 月 1 日入社

- ①趣味は、数字のパズル、ネットでウインドウショッピングです。休日は、家族で外出しています。
- ②甘いものを食べること。
- ③広報課の中でも事務的なことを担当しています。集客データのまとめや、スタッフが研修へ行く際の申込・交通手段の手配、イベントの準備、オーナー様の住宅履歴管理、各種申請手続き、ポスティングなどです。
- ④普段は、広告担当、WEB 担当、雑誌担当などそれぞれに業務がありますが、毎週広報会議やポスティングなどで顔を合わせてしっかり話す時間が設けられています。そういうとき、皆遠慮せずに自分の意見が言えるので、とてもいい雰囲気だと思います。
- ⑤女性しかいないし、子育て中の人も多いので、子どものことや家庭のことなど色々相談できるし、話す



- のが楽しいです。
- ⑥直接お客様と接する機会は少ないですが、BAUHAUS.で家を建てる決めてくださったお客様には、楽しくて後悔のない家づくりをしていただきたいと思っています。私は、保証書の発行や、図面などのデータ保管業務を担当していますが、それをすることがお客様のお家の資産価値を守ることにつながります。いつかお客様の役に立つ日がくると信じて、責任を持って業務に取り組んでいます。
  - ⑦石原様邸。入社して初めて、雑誌の撮影・取材に立ち会わせていただいた物件です。同世代のご夫婦が家を建てようと思われたきっかけ、BAUHAUS.に決めてくださった理由などを聞いて、私もいつかは家を建てたいなぁと思い始めました。
  - ⑧入社当時、住宅業界は初心者でしたが、わからないことがあれば気軽に教えてくださいました。また、年代が近いこともあって、皆意見を言いやすい環境が整っています。
  - ⑨「建築家と建てる家」なので、やっぱり、「建築家ならではの」ポイントがあるといいなぁと思います。視線が抜けて広く見える工夫がしてあったり、家事動線が最短に確保してあったりする家だと嬉しいかな。
  - ⑩私は趣味で料理をしたりはしないので、毎日ご飯は集中して作って、片付けまでササッと済ませたいです。オープンなキッチンより、少しこもったキッチンの方がいいですね。

きむら まさこ

木村 雅子

2017 年 4 月 1 日入社

- ①掃除・洗濯は必ずします。午後からは、子どもと一緒に出かけることが多いです。
- ②ネイルスクールに通っていたので、自分でネイルをすることです。でも今は、なかなか時間がありません……。
- ③イベント準備や色々な申請、雑誌撮影同行など広報兼事務です。
- ④女性だけの部署ですが、とても仲が良かったです。
- ⑤仕事の話はもちろん、プライベートな話もできるところが好きです。
- ⑥私自身も家庭がありお客様と同じ世代なので、やはりお引渡しで家族の素敵な笑顔を見られることです。
- ⑦自分の家。私自身も5 年ほど前にBAUHAUS.で家を建てました。
- ⑧女性が4 人いるのですが、例えば子どもが病気でどうしても

出社できないときなどは、皆でフォローしています。また仕事においても、皆で協力し合えるところです。



- ⑦印象に残っている案件となぜ印象に残っているか教えてください。
- ⑧木村建設や広報課で働きやすいと感じることを教えてください。
- ⑨ズバリ!どのような間取りの家が欲しいでしょうか?詳しく教えてください。
- ⑩ズバリ!どのようなキッチンに憧れますか?教えてください。

- ています。
- ②ハーブティーを飲むこと。
  - ③主な業務は各種広告作成、イベント用のレジュメや資料の作成。あとはポスティングやイベントの準備や設営、玉名店では総務的な業務も行っています。
  - ④風通しのいい環境だと思います。
  - ⑤仕事で困ったことがあれば相談に乗ってもらえるところ。
  - ⑥お客様にBAUHAUS.を知ってもらうきっかけを作れることが



とみた  
富田 みずほ

2018 年 3 月 1 日入社

- ①ランチに行ったり、写真(風景・人物)撮影に行ったりしています。何も用事がなければひたすら寝
- やりがいです。
- ⑦4 月の玉名店OPENに伴い作成した広告を、クレバというフリーペーパーに掲載しました。お客様から、「広告を見ておしゃれだなと思ったので来ました!」と言ってもらえたことは嬉しかったですね。さらに、BAUHAUS.でのお家づくりを決めていただくこともできました。
- ⑧広報課は特に風通しがいいなと感じます。会議の際の意見交換を気兼ねなくできるのは、お客様へのサービスをより良いものにしていく上で大切なことだと思います。
- ⑨生活しやすい家事動線の家!料理をすることが好きなので、休日は庭でランチができるようなお家だいいなと思います。それから、何かを作ったり絵を描いたりすることも好きなので、アトリエ部屋があったら最高ですね。
- ⑩2~3 人で料理ができるような、使い勝手が良くて広いキッチン。



# 幼い頃の 夢

皆さんは、幼い頃、どのような夢がありましたか？  
その夢は現在、叶っていますか？幼い頃にいだいていた夢の  
エピソードをお聞きました！



工務部 主任  
**岡本 豪建さん**

.....  
子どもの頃は、明日何をして遊ぶかしか考えていません  
でした……(笑)



工務部 参与  
**平田 賢司さん**

.....  
小学生の頃、「絶対にプロ野球選手になろう」と思って  
いました。しかし、高校2年生のときに肩を痛めてし  
まって断念。それでも職場の仲間とクラブチームをつ  
くって、20歳から36歳まで草野球・ソフトボールに励む  
ことができたので、当時は悔しかった経験も今では良  
い思い出です。



積算室 室長  
**中村 雅美さん**

.....  
西村京太郎に憧れて、作家を志しましたが、才能の無さ  
を自覚したので断念しました。



営業部 次長  
**吉武 卓弥さん**

.....  
漠然とお金持ちになりたいと思っていました。ですがそ  
れは全く叶っていません……(苦笑)



営業部 主任  
**酒井 健吾さん**

.....  
幼い頃は司法に携わりたかったのですが、結局こうして  
違う仕事をしています。今の夢は、子どもにとって自慢  
の父親になることです。それは必ず叶えてみせます！



住宅事業部 広報アシスタント  
**木村 雅子さん**

.....  
母の影響もあり、キャビンアテンダントになることが幼  
少期の夢でした。実際のところ、現在は3児の母として  
仕事に育児に奮闘する日々を送っています。



住宅事業部 広報・ウェブマーケティング兼アシスタント  
チーフ  
**水洗 舞さん**

.....  
自分の記憶の限りでは、あまり「夢」は持っていませんでした。人並にアイドルに憧れたりしましたが(モーニング娘。  
全盛期)、将来「こうなりたい!」とか「〇〇になりたい!」と強い思いを抱いたことはなかったので、夢がある人が羨まし  
く、「夢がほしい」と思っていました。ただ、大人になった今は、夢や目標ができたので子どもの頃の思いは叶ったのか  
と思っています。

# 入社理由 第2弾

木村建設で活躍されている方々に、入社のかっけを振り返っていただくこの企画。  
今回は以下の皆さんにお話をお聞きしました！



専務取締役

**木村 雄治**さん



人生の流れで入社したような感じなので、きっかけは特にありません。まさか木村建設で働くことになるとは思っていませんでした……！(笑)



工務部 参与

**平田 賢司**さん

前の職場で一緒だった同僚の紹介で入社しました。

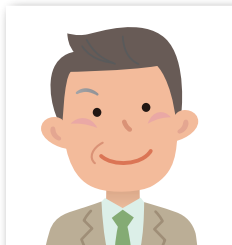


総務部

**浦川 莉穂**さん



学生時代に建設業経理士2級を取得していたので、建設会社の事務をすすめられました。



工務部

**宮本 政尚**さん



先輩がこの会社で働いていらっしやったことがきっかけです。

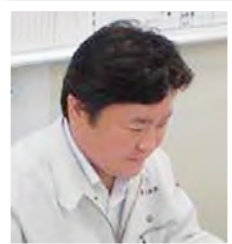


積算室 室長

**中村 雅美**さん



故中尾氏に紹介していただいたこと、木村会長と熊本工業大学の同窓の縁があったことを理由に、昭和63年に入社を決めました。



営業部 次長

**吉武 卓弥**さん



専務と高校の同級生だったことから、前職の退職時に声をかけてもらったことです。



住宅事業部

**郡山 俊介**さん



自分を鍛えられる会社に入りたいと考えていて、その思いにマッチした職場だと感じたので入社しました。



住宅事業部 工務課

**本多 優斗**さん



新しいことに挑戦したいという魂のもと入社を決断しました。



住宅事業部 総務課

**福島 千尋**さん



建設業簿記の資格を取得していたので資格がいかなければと思います。



住宅事業部 工務課  
課長代理

**西宮 健一**さん



1番大きな理由は、建築家をどのように位置づけているか？という会社の考え方に共感できたことです。熊本には自称建築家が多いのですが(笑)、他者や他社にも認められる存在としての建築家について学びたいと思っていました。この会社に入社したことで、研修を通じた他の建築家との交流などによって、建築家同士で切磋琢磨している様子を知ることができ、ここで働けてよかったなと感じています。